

補足資料（I o T実証事業の開始）

実証事業（令和元年12月）の概要

対象業務	担当課	内 容
①降積雪量の把握	道 路 課	<p>&lt;課題事項&gt; 除雪作業の効率化や出動タイミングの判断、人件費削減、きめ細かい除雪による住民満足度の向上のため、市内全域の降積雪量を常時把握したい。</p> <p>&lt;実証概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行計測地点10カ所で実施。 海王町市営住宅、松木公民館、二口コミュニティセンター、榎田コミュニティセンター、三ヶコミュニティセンター、戸破コミュニティセンター、南太閤山コミュニティセンター、野手公民館、下地区センター、本江コミュニティセンター</li> <li>・ 計測地点に積雪センサーを設置し、インターネット上から計測値を確認できるようにする。</li> </ul> <p>【令和元年12月から実証開始予定】</p>
②消雪装置の監視	道 路 課	<p>&lt;課題事項&gt; 消雪装置の老朽化により、稼働しない事や、誤作動する事があるが、これらの不具合について地元からの通報により把握している状況で、迅速に対応できていない。</p> <p>&lt;実証概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消雪装置(140カ所)の中から7カ所選定。 新湊2、小杉2、大門1、大島1、下1</li> <li>・ 消雪装置に動作検知センサーを装着し、電源ON、運転、エラー、停止等の稼働状況をインターネット上から確認できるようにする。</li> </ul> <p>【令和元年12月から実証開始予定】</p>
③除雪車位置情報の把握と除雪履歴管理	道 路 課	<p>&lt;課題事項&gt; 除雪状況を常時把握することができないため、住民からの問い合わせ時にすぐに回答できず、業者へ確認しながら対応していることや、除雪漏れの把握も難しい。</p> <p>&lt;実証概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 除雪車(274台)及び歩道除雪車(38台)の中から10台選定。</li> <li>・ 車両にGPSトラッカーを装着し、インターネット上から除雪車両の位置情報と除雪履歴を確認できるようにする。</li> </ul> <p>【令和元年12月から実証開始予定】</p>

降雪期に向けて実施

降雪期に向けて実施

降雪期に向けて実施

※調整中の内容も含まれるため、変更になる場合もあります。